

新内科学大系

神経疾患 V

1978年9月2版



新内科学大系

12

神経疾患 V

吉利和久一
喜敵謙郎
喜久和謙
辺形山中尾
五義岩黒
五敏田織村
和雄一
阪大教授
東大教授
九大教授
慶大教授
東北大教授
自治医科大学長
浜松医科大学教授

<監修>



0012 3389

中山書店

卷 03 全 くさ雲の書

1976年2月10日 第1刷発行

検印省略

新内科学大系(全60巻)

Handbook of Internal Medicine
(Shin-Naikagaku Taikai)

第12巻《神経疾患 V》◎

監修

吉中山三黒織山

和久一謙郎

喜敞

利尾形辺岩義五敏雄

田村中山三郎

発行

発行所

株式会社

中山書店

〔製作〕 株式会社 中山・新内科学大系刊行部
東京都文京区本郷3の14の10(泰生ビル)

TEL. 813-1101(代表) 郵便番号 113

〔販売〕 東京都文京区本郷3の6の12(太平ビル)

TEL. 815-3511(代表) 郵便番号 113

〔取引〕 東京都千代田区神保町2の24

TEL. 263-5511 振替東京196565 郵便番号 101

印刷/凸版印刷株式会社 製本/松岳社青木製本所

用紙/三菱製紙株式会社 表紙/ダイニック株式会社

3347-213001-5612

內科大學系



V忠実登軒

東女医大教授
山形大教授
和田秀
鈴木誠
石川和
鎮目和
東大助教授
東大講師
和田
鈴木
石川
東大助教授
慶大助教授
土屋雅
府愛媛大教授
國慶媛大教授
郎春攻郎誠夫
<編集>

山本一
田中一
喜多一
大曾根一
大曾根一
大曾根一
大曾根一

<著譜>

中書山

北大教授 村尾忠誠
北大教授 村石
山形大教授 村中
北大教授 島尾
東北大教授 滝村
東大教授 尾坂
東大教授 坂倉
東大教授 小坂
東大教授 豊倉
東大教授 堀内
東大教授 真下
東大教授 田中
中部労災病院長 田中
滋賀医科大学長 脇坂
国立京都病院長 安坂
阪大教授 阿部
九大教授 尾前
照雄 裕夫 一行 三明 淑彦 康彦 夫徳 覚任 隆雄

〈監修協力〉

札医大教授

和田武雄

中山慈大教授

上田進

日野泰雄

名大名醫教授

增田正典

京府医大教授

木下重五

東医蘭大教授

増田正典

岡坂新大教授

木下重五

高岡長大教授

木下重五

木下重五

木下重五

木下重五

〈顧問〉

V 患者登録

勝木司馬之助	吉田常雄	青山宅儀	田坂進午	冲中孝	黒川利雄
九大名譽教授 宮崎医学校 大学長	阪大名譽教授 国立大阪病院 院長	京大名譽教授 国立京都病院 監督院長	名城病院 名大名譽教授	関東労災病院 監督院長	東北大院 東大名譽教授

〈名譽顧問〉		田園		新井	
南善	林未	高玉	胡言	利有	新井本
明公	谷野	鑑表	翠平	大真	大和
大幸	山頭	鑑本	翠平	大朗	西東
忠	留一	鑑一	翠村	中良	立清
三喜	口小	鑑一	村植	洋六	外雲
富	田聯	古山	柳田	洋六	六博
朝	中田	義	山田	大政	大政
福	田	義	西中	大朗	大朗
源	曉	鑑	感玉	中父	中父
誠	山	鑑	玉父	正	正
恵	半高	一	大	大	大
誠	山	鑑	大	大	大
誠	元	泰	神	吉	吉
春	玉	吉	誠	高	高
勝	木	吉	誠	高	高

（略）

監修の書

佐藤義忠 佐藤義太郎

第12卷

神 経 疾 患 V

著 者

国立小児病院 医長	岡田良甫	鹿大助教授	永松啓爾
鳥大教授	有馬正高	慈大講師	熊谷公明
東医歴大講師	平塚秀雄	東女医大教授	福山幸夫
都立府中病院 医長	別府宏圏	新大教授	椿忠雄
新大神経内科	神林敬一郎	信大講師	小口喜三夫
熊大教授	徳臣晴比古	宮崎県立 延岡病院内科	窪田陽
熊大助教授	出田透	九大教授	田中潔
東大助教授	中西孝雄	名古屋第二赤 十字病院部長	柳務
名大教授	祖父江逸郎	順大助教授	平山恵造
虎の門病院部長	塩沢瞭一	鳥大助教授	高橋和郎
元九州労災病院 部長	宮崎募	大阪住友病院 部長	宮崎元滋
国立津病院長	高崎浩	三重大助教授	金丸正泰

(執筆順)

本巻の協編

九大助教授 後藤幾生

目 次

I. 形成不全	1
A. 染色体異常を伴う先天異常	岡田良甫 3
1. D ₁ トリソミー症候群	3
a. 発生頻度	3
b. 病因	6
c. 病理学的所見	7
d. 臨床像	9
e. 予後	13
2. 18 トリソミー症候群	13
a. 発生頻度	13
b. 病因	14
c. 臨床像	14
d. 予後	16
3. 染色体部分欠失を伴うモノソミー症候群	17
B. 神経管の閉鎖不全	永松啓爾 22
1. 定義	22
2. 歴史	22
3. 病因	22
4. 分類と頻度	23
5. 臨床症状	23
a. 潜在性脊椎破裂	24
b. 囊胞性脊椎破裂	24
c. 頭蓋破裂	24
6. 検査所見	26
7. 診断および鑑別診断	26
8. 合併症	26
9. 経過、予後	26
10. 治療	27

C. 脳の発育障害.....	有馬正高	28
1. 小頭症, 小脳髄症		28
a. 定 義.....		28
b. 分 類.....		28
c. 病 因.....		29
d. 頻 度.....		30
e. 臨 床 像.....		30
f. 鑑別診断.....		31
g. 経過, 予後.....		31
h. 治療および指導.....		31
2. 回転異常		31
a. 無回症, 無回転.....		32
b. 不全回脳, 希少回転, 大回転.....		33
c. 矮小多回脳, 小多回転.....		34
3. 大頭症, 巨脳症.....		35
a. 定 義.....		35
b. 歴 史.....		35
c. 分 類.....		35
d. 病因および病理.....		35
e. 症 状.....		37
f. 鑑別診断.....		37
g. 予 後.....		37
4. 脳梁欠損症		37
a. 定 義.....		37
b. 歴 史.....		37
c. 病因および病理.....		37
d. 発 生 率.....		40
e. 臨床症状.....		40
f. 診 断.....		40
g. 治療および指導.....		40
5. 透明中隔欠損		40
6. 脳室間槽		42
7. 透明中隔囊胞および Verga 脘		44
8. 孔 脳 症		44

D. 脳神経核の発育不全	熊谷公明	47
先天性顔面神経麻痺		47
a. 名称、同義語		47
b. 定 義		47
c. 歴 史		47
d. 病因論		47
e. 病理組織		48
f. 疫学的事項、発生率、統計事項		49
g. 臨床症状		49
h. 診 断		51
i. 鑑別診断		51
j. 合併症		52
k. 経過、予後		54
l. 治 療		54
E. 水頭症（脳水腫）	平塚秀雄	56
1. 外水頭症（外脳水腫）		56
2. 内水頭症（内脳水腫）		56
a. 定 義		56
b. 歴 史		56
c. 分 類		57
d. 病因論、病態生理		58
e. 病態生理		60
f. 病 理		61
g. 疫学的事項		61
h. 臨床症状		62
i. 診断および鑑別診断		66
j. 経過、予後		66
k. 治 療		67
F. 頭蓋骨その他骨形成異常	福山幸夫	73
1. 頭蓋狭窄症		73
a. 頭蓋狭窄症		73
b. 頭蓋狭窄症を伴う特殊症候群		78
2. 鎮骨頭蓋異骨症		85
a. 概 念		85

b. 歴 史	86
c. 病因論、病態生理および病理	86
d. 統計的事項	88
e. 臨床症状	88
f. 鑑別診断	91
g. 合併症	91
h. 治療、予後	92
3. 両眼隔離症	92
a. 概論、歴史	92
b. 分 類	92
c. 病 因 論	92
d. 統計的事項	93
e. 臨床症状	93
f. 鑑別診断	94
g. 治療、予後	95
4. 頭蓋・頸椎移行部の異常(大後頭孔症候群)	95
a. 概 説	95
b. 頭蓋底陷入症	96
c. 脊柱突起形成障害による環椎・軸椎変位	98
d. Klippel-Feil 症候群	99
G. 脊髄空洞症、延髄空洞症	別府宏園 109
1. 定 義	109
2. 歴 史	109
3. 分 類	109
4. 病 因 論	110
5. 病態生理	110
6. 病 理	113
7. 頻 度	113
8. 臨床症状	113
a. 頸・胸髄型	114
b. 延 髄 型	115
c. 腰仙髄型	116
d. 外傷後脊髄空洞症	116
e. 脊髄腫瘍に伴う脊髄空洞症	116

9. 檢査所見	116
a. 體液	116
b. X線所見	116
10. 診断	117
11. 合併症	117
12. 経過	118
13. 治療	118
a. 放射線治療	118
b. 外科的治療	118
c. 内科的治療	118
H. 母斑症	福山喜夫 120
1. 総論	120
2. 結節性硬化症	122
a. 定義	122
b. 歴史	122
c. 頻度、遺伝	123
d. 病理	124
e. 臨床	124
f. 診断	128
g. 鑑別診断	128
h. 予後	128
i. 治療	128
3. 神經線維腫症(von Recklinghausen病)	128
a. 歴史および概念	128
b. 病理組織	128
c. 疫学的事項、遺伝	130
d. 臨床症状	130
e. 鑑別診断	131
f. 治療	131
4. Sturge-Weber-Dimitri症候群(encephalofacial angiomas)	131
a. 概念、歴史	131
b. 病理	132
c. 遺伝	132
d. 臨床症状	132

e. 鑑別診断	134
f. 治 療	134
g. 予 後	134
5. その 他	134
II. 中毒性神経疾患 141	
A. 金属中毒	143
1. 無機水銀中毒	椿 忠雄 143
a. 歴 史	143
b. 臨床症状	143
c. 治 療	145
2. フェニル水銀中毒	椿 忠雄 145
臨床症状	146
3. アルキル水銀中毒	椿 忠雄 146
a. 病 理	147
b. 臨床症状	150
c. 特殊な型の水俣病	152
d. 診 断	152
e. 経 過	153
f. 治 療	153
4. 鉛 中 毒	椿 忠雄, 神林敬一郎 154
a. 臨床症状	155
b. 診 断	155
c. 検査所見	156
d. 治 療	156
5. 四エチル鉛中毒	椿 忠雄, 神林敬一郎 156
a. 臨床症状	156
b. 治 療	157
6. タリウム中毒	椿 忠雄, 小口喜三犬 157
a. 病 理	157
b. 臨床症状	157
c. 検査所見	157
d. 診 断	158
e. 治 療	158

7. マンガン中毒	椿 忠雄, 神林敬一郎	158
a. 急性中毒		158
b. 慢性中毒		158
8. 硫素中毒	椿 忠雄	159
a. 臨床症状		159
b. 治 療		159
B. 有機溶媒中毒	徳臣晴比古, 堺田 陽	163
1. 脂肪族炭化水素		164
a. メチルアルコール		164
b. エチルアルコール		165
c. エーテル		165
d. グリコール		166
e. アセトン		166
f. ノルマルヘキサン		167
g. フォルムアルデヒド		167
2. ハロゲン炭化水素		168
a. クロロホルム		168
b. 四塩化炭素		168
c. 四塩化エタン		169
3. 芳香族炭化水素とその誘導体		169
a. ベンゾール		169
b. アニリン, ニトロベンゾール, アセトアニリド		170
4. その 他		171
a. 二硫化炭素		171
b. シクロヘキシリアミン, エチレンジアミン		171
C. 医薬による中毒	徳臣晴比古, 出田 透	173
1. 精神障害		174
2. 痙 撃		176
3. 脳血管障害		176
4. 錐体外路症状		177
5. 失調症状		177
6. 脳神経障害		178
7. 末梢神経障害		179
8. 単神経炎		179

9. 多発性神経炎	180
10. 神経筋接合部障害	181
11. 予防接種に伴う副作用	182
D. キノホルム中毒と類似化合物の中毒 (SMON)	椿 忠雄 185
1. キノホルムとその歴史	185
2. キノホルムの副作用とその歴史 (SMON 以前)	185
3. キノホルムの薬理	187
4. SMON のキノホルム説とその疫学的根拠	188
5. 小児 SMON	192
6. 外国の SMON	194
7. 動物実験における SMON の再現	194
E. ガス中毒	永松啓爾 198
1. 一酸化炭素中毒	198
a. 一酸化炭素の毒性	198
b. 病 理	198
c. 臨床症状	200
d. 診 断	204
e. 予 後	204
f. 検査所見	204
g. 治 療	205
2. 二硫化炭素中毒	207
a. 臨床症状	207
b. 検査所見	208
c. 診 断	208
d. 予 後	208
e. 治 療	208
3. 四塩化炭素中毒	209
a. 臨床症状	209
b. 検査所見	209
c. 診 断	209
d. 予 後	210
e. 治 療	210

F. PCB中毒	田中 潔…212
1. 概念と歴史	212
2. 分類	212
3. 病因論	213
4. 病態生理	213
5. 病理組織	214
6. 臨床症状	214
a. 自覚症	214
b. 他覚症	214
c. 検査所見	214
7. 診断	215
8. 経過、予後	216
9. 治療、予防	216
 III. ミエロバチー	217
A. 頸椎症とその類縁疾患	219
1. 頸椎症	中西孝雄…219
a. 概念	219
b. 頻度	219
c. 分類	219
d. 病態生理	220
e. 病理組織	221
f. 臨床症状	221
g. 検査所見	222
h. 経過	222
i. 診断	223
j. 鑑別診断	224
k. 治療	225
2. 頸椎後縦韌帯骨化症	中西孝雄…226
a. 概念	226
b. 分類と発生率	226
c. 病理	226
d. 臨床症状	227